

単位数	2	学科（型） 学年	建設工学科（建築型） 2年	教科書 副教材等	建築計画（実教出版）
学習目標		建築計画に関する基礎的な知識と技術を習得し、豊かな建築空間を合理的に計画・設計できる能力と態度を身に付ける。			
学期	学習内容			学習のねらい	
1	1	建築計画の概要		○建築計画の各分野に興味・関心を持ち、環境に配慮した安全で快適な建築物を計画する力の向上を目指して、主体的に学習に取り組む。	
	2	建築計画の歴史		○日本と西洋の古代から現代までの建築の移り変わりとは各時代の歴史的事象との関連について理解している。	
2	3	建築と住環境		○室内環境を快適に保つための伝熱・結露、日照・日射、採光・照明をはじめ、熱貫流率などの計算方法や日影図の作成方法、結露防止などについて思考・判断し、表現できる能力を身に付けている。	
	4	建築の設備		○建築設備の目的や、設備計画の基本的な事項、省エネルギーに関する制度や基準などを理解している。 ○各設備の基本的な事項と、これらの計画の方法について思考判断し、表現できる能力を身に付けている。	
3	5	建築物の企画や計画		○都市における都市計画の目的や理念をはじめ、都市計画の基本的なしくみなどを理解している。 ○バリアフリーやユニバーサルデザインに関心を持ち、バリアフリー住宅の計画上の基準の理解に意欲的に取り組んでいる。	
	6	都市の計画		○都市における都市計画の目的や理念をはじめ、都市計画の基本的なしくみなどについて思考・判断し、表現できる能力を身に付けている。 ○まちづくりに関心を持ち、それぞれの地域の特性を生かした環境づくりの実現化の方法などの理解に意欲的に取り組んでいる。	
価値の観点		内 容			
知識・技能		・建築計画を合理的かつ適切なものにするため、その根拠となるデータや数値を算出する方法等を身に付けている。また設計者として望ましい心構えや態度を身に付けるとともに、建築計画の意義や役割を理解している。			
思考・判断・表現		・建築計画に関わる基礎的・基本的な知識・技術を活用して思考・判断し、表現できる能力を身に付けている。			
主体的に学習に取り組む態度		・建築計画に興味・関心を持ち、その目的や意義をはじめ、建築物の作り出される過程との関わりなどを理解するため、意欲的に取り組んでいる。建築計画を合理的かつ適切なものにするため、その根拠となるデータや数値を算出する方法等を身に付けている。			
評価方法	・学習態度、学習意欲を評価する。 ・年間5回の定期考査の結果をもとに理解度、定着度を評価する。 ・演習でのデザインやアイデアを評価する。				
学 習 に 対 す る ア ド バ イ ス と 留 意 事 項					
○ 高校生らしいアイデアを創造するために、完成見学会等に積極的に参加しよう。 ○ テレビの住宅探訪、リフォーム番組等を見て参考にし、基礎知識の習得に努めましょう。 ○ 自分の考案したアイデアをデザイン帳などにメモして保存しましょう。					